

氏名	兼宗 美幸	部署	保健医療福祉学部看護学科	職名	教授
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	博士（看護学）甲第22号				
学歴	1986年千葉大学看護学部看護学科卒、2000年文教大学大学院人間科学研究科修士課程生涯学習学専攻終了、2020年順天堂大学大学院医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	1986年都立築地参院（当時）助産師、1989年埼玉県立衛生短期大学看護学科助手、1996年同講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2020年度現職				
所属学会（役職）	日本看護科学学会（査読委員）、日本母性看護学会（査読委員）、日本母性衛生学会（査読委員）、更年期と加齢のヘルスケア学会、日本女性医学学会、日本女性心身医学会、日本看護研究学会、日本看護教育学会（査読委員）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本看護歴史学会、日本看護技術学会、日本看護シミュレーション学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	性の健康を守る看護職の支援の概念分析	共著	あり	母性衛生、63(4)、 P793-801	服部弓子、鈴木幸子、兼宗美幸、 北島義典	2023年1月
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	女性の更年期症状を改善する食事、運動、認知、教育介入に関する文献レビュー	共同	第20回更年期と加齢のヘルスケア学会学術集会、Web開催	○飯島佐知子、高島えり子、ケニヨン充子、坂梨薫、大月恵理子、兼宗美幸、小笹由香、松永佳子	2022年9月	
2	女性の更年期症状を改善する複数の方法を用いた介入効果 女性の包括的支援のための文献レビュー結果から	共同	第20回更年期と加齢のヘルスケア学会学術集会、Web開催	○高島えり子、飯島佐知子、ケニヨン充子、坂梨薫、大月恵理子、兼宗美幸、小笹由香、松永佳子	2022年9月	
3	軽擦法を極める いつでも・どこでもできる触れる技の極意	共同	日本看護技術学会学術集会、Web開催	○福田彩子、武田美津代、柳奈津子、坂本めぐみ、木村伸子、中山久美子、兼宗美幸	2022年10月	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	児童生徒のインターネットゲーム障害を予防・早期発見する専門職研修プログラムの開発	研究分担者	2021年4月 - 2025年3月		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ヒューマンケア論①②		1	「産まない権利から生を見つめる」をテーマに全学科1年生を対象に45分間のビデオ教材を作成し、多様な視点で生を考える話題を提供した。		
2	リプロダクティブヘルスと看護		1	「性暴力と被害者支援」前年度の学生の感想や意見を踏まえて教授内容（性暴力被害者の看護の事例の提示と解説）を改善した。		
3	母性看護学Ⅰ		1	「女性の健康とDV」では前年度の学生の感想や意見を踏まえて教材を精査し、デジタル教材及び方法（デートDV被害者の看護の実際を事例で解説）を改善した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	周産期のケア		5	「助産倫理」「地域母子保健」の講義と対面での実技演習時間が活用できるよう、対象者（妊産褥婦や家族）の視点でのケアの検討や振り返りができるように関わった。		

2	分娩期のケア		28	「分娩の生理」「分娩介助の意義」などの講義や遠隔・対面での分娩介助技術の学習を積み重ねるよう映像や資料を改善した。分娩介助技術練習の安全で確実な人的・物的環境を整備した。
3	大学院博士前期課程 リプロダクティブヘルス論		4	「性暴力と被害者支援」「特定妊産婦と産後ケア」のテーマに添った関連文献との討議を実施し、院生の研究テーマに関する知見を深めた。
4	大学院博士前期課程 看護学演習（リプロダクティブ）		15	院生の研究テーマに沿った文献抄読とディスカッションを実施し、参加院生の研究方法と研究テーマに関する知見を深めた。
5	大学院博士後期課程 次世代育成看護論		4	「リプロダクティブヘルスの支援」「子育て家族の健康増進支援」の文献抄読と討議により院生の研究テーマを深めた。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	助産学実習Ⅰ		学外実習： 2022.5～2022.6	コロナ禍で協力が得られた保健センターで地域母子保健の実習を支援した。臨地実習から学内（遠隔含む）実習へと変更となった学生へ具体的な教材を提供し理解が深まるよう支援した。
2	総合実習		学内実習： 2022.7 20コマ	臨地実習から学内実習（遠隔含む）へ変更となり3週間実施した。新たに臨地実習指導者の協力を得て、遠隔でのカンファレンスを実施した。学生の反応に合わせて課題や実践を調整した。
3	助産学実習Ⅱ		学外実習： 2022.8～2022.10	コロナ禍で実習方法を調整しながら3名を臨地で指導した。様々な状況下で臨地実習指導者の協力を得て産婦のケアの原則を体験から学ぶよう学生を支援した。
4	IPW実習		2022.10. 学内実習：18コマ	4年次生6名を臨床との遠隔実習で教員FTとして支援した。実習施設FTと他グループ教員FTと連携と統合を実践できるよう支援した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2022.4～2023.1	主指導	2名	副指導 0名
2	修士論文	2022.4～2023.3	主指導（指導教員）	2名	副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文	2022.4～2023.3	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 1名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	特別授業	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	性教育講義	2022.11
2	専門職公開講座	埼玉県立大学	臨床家のための看護研究セミナー	2022.6-2022.12

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本母性衛生学会	査読委員	2020.4～現在
2	ウィメンズヘルス研究所	幹事	2020.4～現在
3	日本母性看護学会	査読委員	2020.4～現在

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

(4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	越谷市立病院	病院経営審議会委員	2019.4～2023.3
2	地域貢献活動	草加市立病院	看護研究指導	2020.4～現在
3	地域貢献活動	認定特定非営利法人こしがやとまろう	理事	2017.7～現在

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	代議員会	2022.2～現在
2	学生支援	1年次担任および担任長	2020.4～現在
3	学科等における委員会等	実習計画調整会議長	2020.4～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		